

九州半導体人材育成等コンソーシアムにおける人材育成の取組

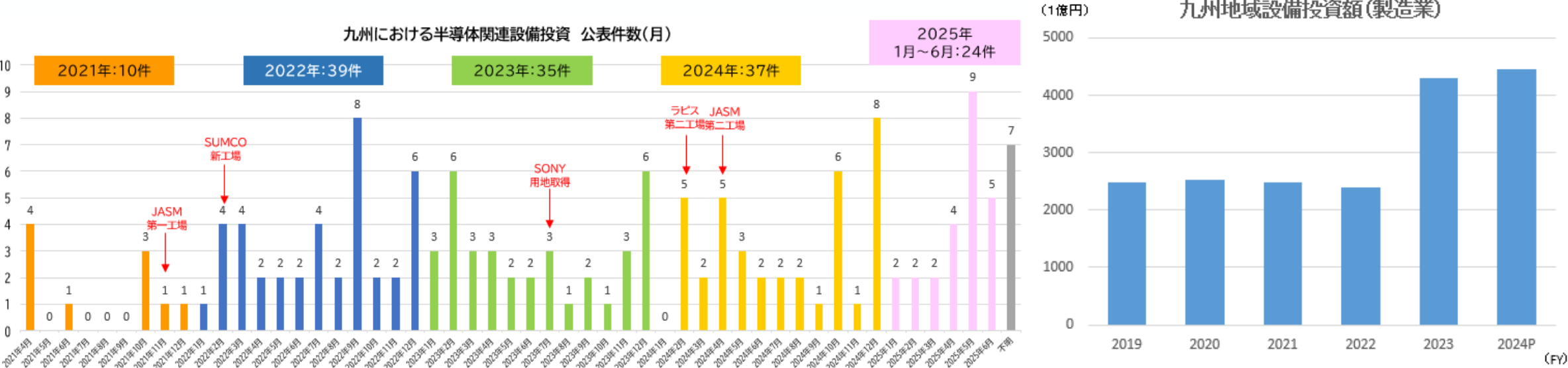
2025年10月7日

九州経済産業局 情報政策課
(九州半導体人材育成等コンソーシアム事務局)

九州への新規立地・設備投資の動向

件数・設備投資額（公表ベース）

- 九州への新規立地・設備投資表明は、TSMC・Jasm進出表明から3年以上経過した現在でもペースを持続。特に2025年1～6月は前年を上回るペースで投資が表明されている。
- 九州への設備投資額（製造業）についても2年連続で高水準を維持。日本政策投資銀行によれば、「半導体関連投資については、2023年度の急激な伸びからは一服感があるものの、2024年度も高い水準で 継続した投資がみられる」と分析。



九州・沖縄における半導体産業の動向（経済波及効果と設備投資）

- 九州では大規模な半導体設備投資が相次いでおり、設備投資総数201件の総額は6.2兆円
- 九州地域内の10年間の経済波及効果は約23.0兆円と推計、前回の推計から2.9兆円の上方修正

<九州・沖縄における10年間の経済波及効果>

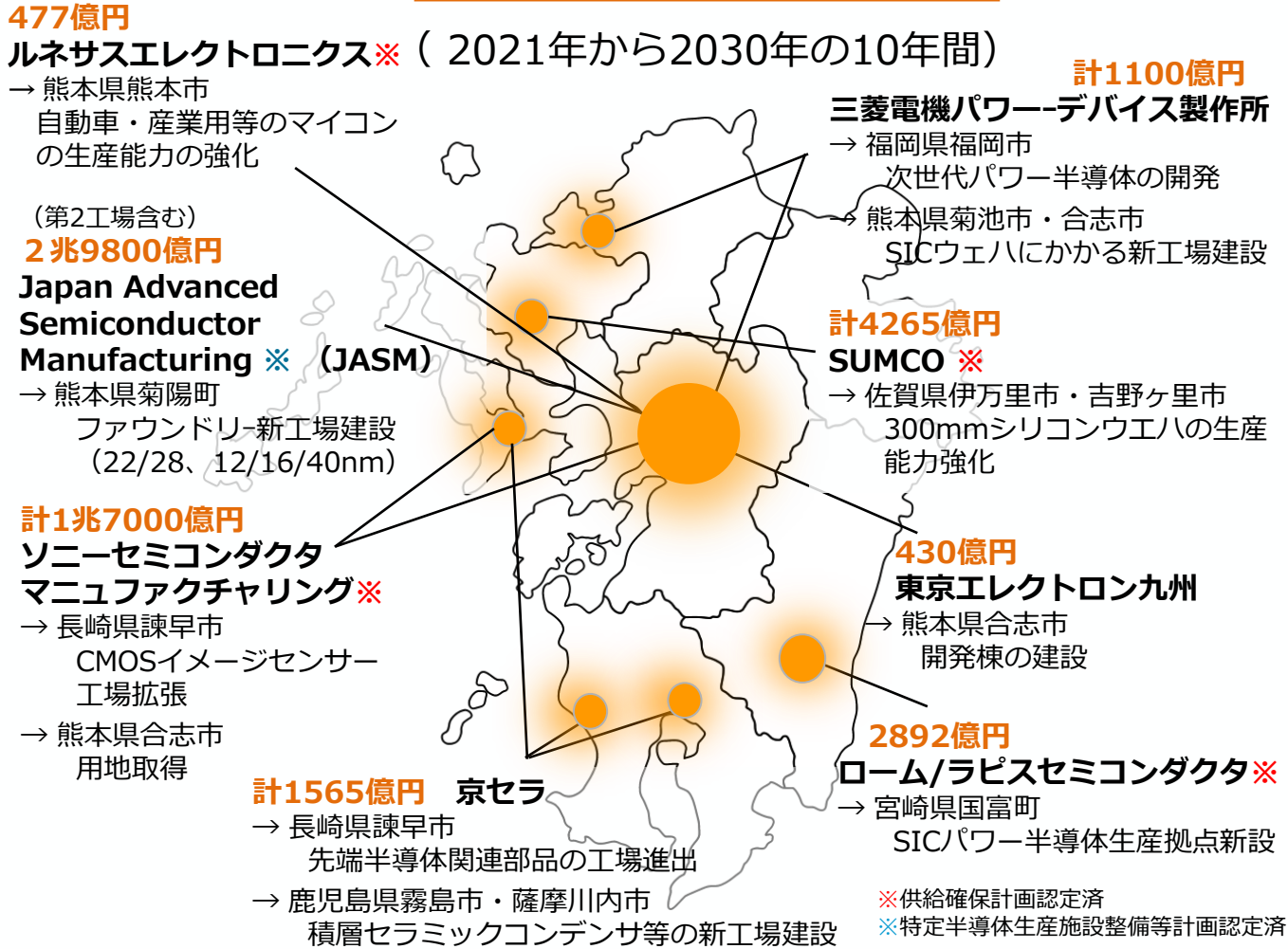
総数 単位：兆円	設備投資	生産活動	合計
最終需要	6.2	7.9	14.1
直接効果	4.6	7.9	12.5
1次間接効果	2.2	3.9	6.1
2次間接効果	1.5	2.9	4.4
経済波及効果 (生産誘発額)	8.4	14.6	23.0

- 10年間（2021年～2030年）の投資総額は6.2兆円、生産額は7.9兆円と推計
- 関連する財・サービスの生産（1次間接効果）、消費活動（2次間接効果）を含めた

経済波及効果（生産誘発額）は23.0兆円

<主な半導体設備投資計画>

総額6.2兆円（201件）

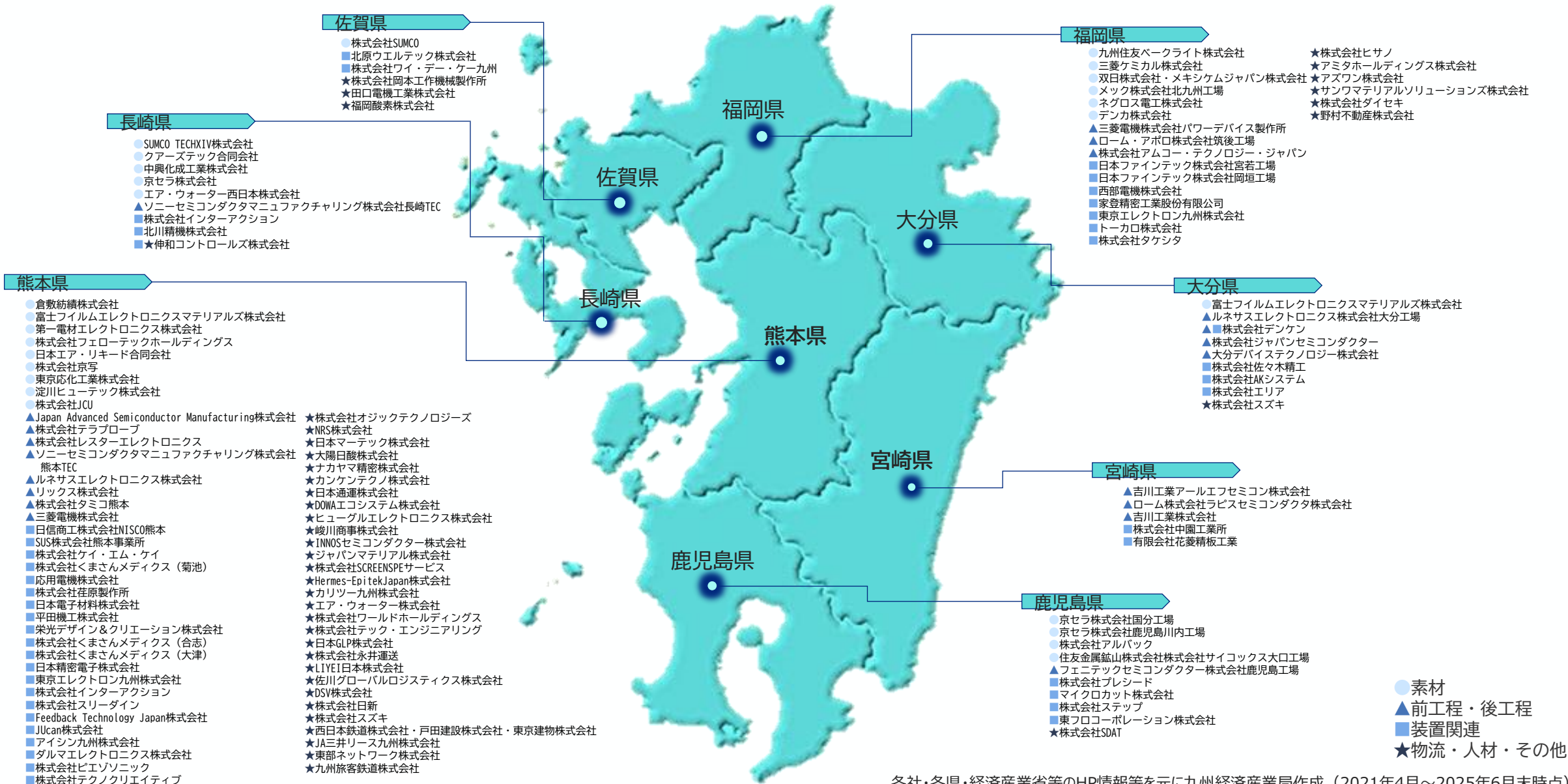


出所) 公益財団法人九州経済調査協会、
九州・沖縄地銀連携協定「Q-BASS」の資料より九州経済産業局作成

九州の半導体産業の動向（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）

企業の主な設備投資計画・立地協定

7県合計150件、4兆8,300億円超(金額は公表企業分等の合計額)



九州半導体人材育成等コンソーシアム

- 「半導体人材の育成・確保」「サプライチェーン強靱化」等を目的に、2022年3月設立（45→152機関※） ※2025年6月末時点
- 全体会合では、活動の方向性を決定。各機関による取組を共有し、連携を促す
- 個別具体的な活動の企画立案・実行は、ワーキンググループ（WG）が担う

【活動の方向性】

- 1) 半導体人材の育成・確保（WG）
- 2) 半導体大手と地場・ユーザー企業との取引強化（WG）
- 3) 海外との産業交流促進

【事務局】

- ・九州経済産業局
- ・（一社）九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ）

※全体推進（全体会合：152機関）

九州半導体人材育成等コンソーシアム

（代表幹事：九州経済産業局長、SIIQ※筆頭副会長）

※（一社）九州半導体・デジタルイノベーション協議会
会員数：366（2025年6月末時点）

※具体的活動の推進（2つのWG）

人材育成WG

118機関

サプライチェーン
強靱化WG

85機関

「海外との産業交流促進」

全国に
横展開

支援

地域版コンソーシアム

福岡県

（令和4年2月）

佐賀県

（令和4年10月）

長崎県

（令和4年2月）

熊本県

（令和4年3月）

大分県

（平成17年4月）

宮崎県

（令和5年12月）

鹿児島県

（令和7年8月）

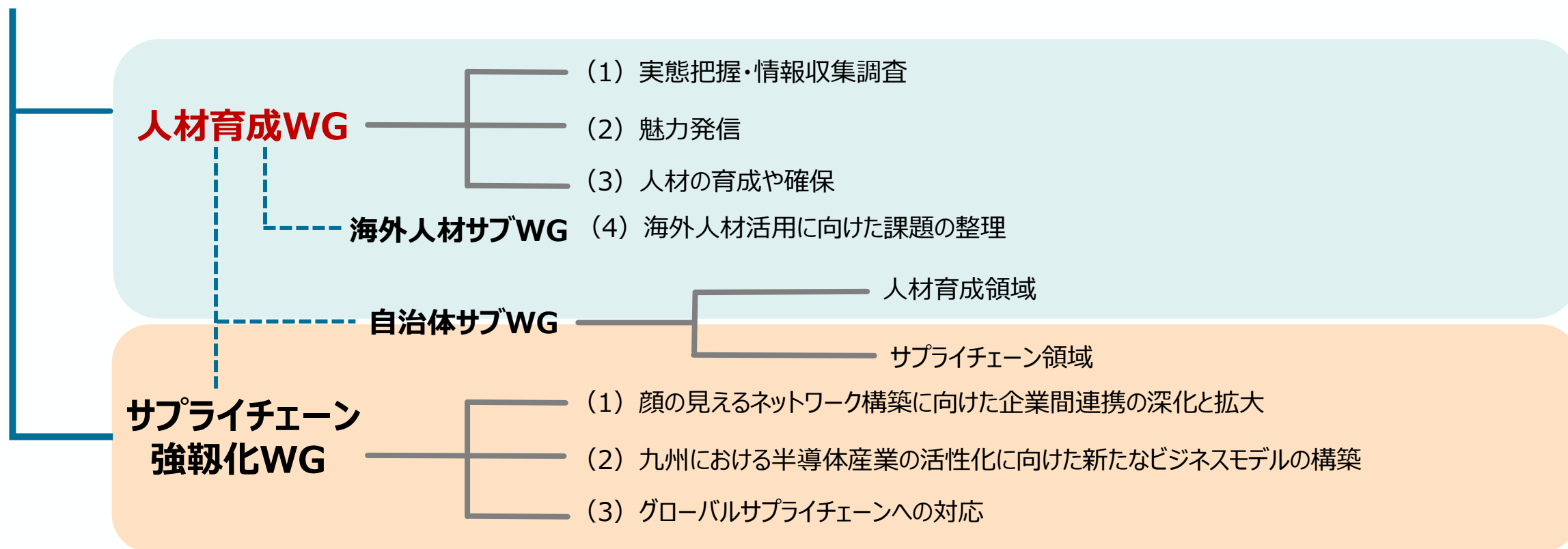
北九州市

（令和4年7月）

※（ ）内は組成時期
九州経済産業局も参画

(参考) 九州半導体人材育成等コンソーシアムの構造

九州半導体人材育成等コンソーシアム



九州半導体人材育成等コンソーシアムの活動指針

中期行動計画の策定

コンソーシアム活動の指針を確認するとともに、構成機関に活動のマイルストーン（取組内容・時期）を示すことで、コンソーシアム活動への更なる理解促進と求心力向上に繋げるため、**中期行動計画（MVV・KPI・Action）**を策定。

Mission：コンソーシアムの使命

半導体で豊かな未来社会を九州から実現する

Vision：コンソーシアムが目指す姿（なりたい状態、あるべき姿）

- ・多様な半導体人材が集い生き活きと活躍する九州
- ・半導体とともに歩み成長を続ける九州
- ・グローバルな半導体エコシステムの一翼を担う九州

Value：コンソーシアムがもたらす価値 （やるべきこと、共通の価値観、行動指針）

- ・半導体の魅力発信と人材育成を担う産学官金プラットフォーム
- ・産業競争力の強化に資する半導体バリューチェーン
- ・半導体産業の発展に貢献する九州から世界へのクロスポイント

KPI：半導体人材の育成・確保

コンソーシアム構成機関による
「魅力発信」「人材育成・確保」の取組を
多くの学生や社会人に届ける。

＜構成機関が実施する活動に参加した延べ人数＞

【実績】2024年度 累計約13.5万人（74機関）

【目標】2026年度末 累計40万人（180機関※）

2031年度末 累計140万人（200機関※）

※当該年度のコンソ構成機関数見込

Action：人材育成WG 2025年度活動概要

1. 実態把握・情報収集調査

- ① 人材需給ギャップ フォローアップ調査 → 最新の半導体人材の不足・採用状況等の把握
- ② 構成機関における取組状況調査 → 人材育成・確保の取組状況の把握及び対外発信

2. 半導体産業の魅力発信

- ① 教員向け研修会 → 教員の半導体産業に対する理解度・関心度向上の促進
- ② 産学ミートアップ事業 → 学生の半導体産業に対する実感値を伴った理解の促進
- ③ 半導体産業魅力発信コンテンツのアップデート ※冊子発行は2026年度以降に実施予定

3. 半導体人材育成・確保

- ① 出前授業（横断的教育カリキュラム） → 半導体産業を横断的に捉える人材の育成促進
- ② 産学連携による教育・研究環境の整備促進（装置類寄付・講義開放）

4. 横断的・ダイバーシティ推進

- ① 「海外人材サブWG」の設置 → 九州半導体産業における海外人材活用に向けた課題感等の把握
- ② 「自治体サブWG」の設置 → 自治体間の情報共有及び連携促進、人材育成WGとの連携検討

2025年度 人材育成WG 事業スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会合								第7回 会合					第8回 会合
人材育成WG					7/23 第1回 WG		9/19 第2回 WG				次年度 方針検討		3/4 第3回 WG
実態把握 情報収集 調査	半導体人材需給ギャップ（フォローアップ）調査 サプライチェーンマップ更新		アンケート票作成			アンケート票発送・回収			集計・分析		結果まとめ		●公表
	構成機関における人材育成・確保の 取組状況調査		アンケート票作成		アンケート票 発送・回収	集計・分析 結果まとめ		●公表					
半導体産業 の魅力発信	教員向け研修会				●7/25 三菱電機	●8/28 日清紡マイクロデ バイスAT					●1/15 ラピスセミコンダクタ ●1月中下旬 フェニテックセミコンダクター		
	産学ミートアップ		参加者募集			●8/4 SUMCO	●8/21 大分開催		参加者募集			●2/18 長崎開催	
半導体人材の 育成・確保	出前授業・横断的教育	出前授業（大学・高専・高校）											
	産学連携による教育・研究環境の整備 （装置類寄付構築・講義開放）		仕様検討					アンケート票発送・回収		集計			限定公表●
ダイバーシティ推進	【海外人材サブWG】 海外人材活用に向けた検討		組成準備 方針検討			9/2 第1回 サブWG			第2回 サブWG		議論結果 まとめ	第3回 サブWG	
横断的な取組	【自治体サブWG（人材育成領域）】 自治体連携に向けた検討		5/21 第1回 サブWG		連携取組 の検討		9/3 第2回 サブWG					第3回 サブWG	

人材育成WG活動 個別報告

1.-①実態把握・情報収集調査 【半導体人材需給ギャップ フォローアップ調査】

実施背景・目的

- 九州半導体人材育成等コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）が設立された**2022年度**、人材育成WGでは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）調査委託事業において、九州地域の半導体関連企業に対し、半導体人材の人材不足や採用状況についての現状調査を実施した。
- 同調査による主な結果として、九州地域において、オペレーターや生産技術職を中心に、短期・中長期的に年間1,000人程度の人材が不足する見込みという現状が明らかになった。
- 同調査以降、TSMCの熊本進出等、九州地域の半導体関連の投資は活発化し、半導体産業を取り巻く環境は大きく変化している。
- 産学官金連携によるコンソーシアム活動の広がりが見られる中、足下の採用状況や人材充足感等のポジティブな転換について考察が必要。
- このため、最新の半導体人材の人材不足や採用状況について改めて調査し、半導体人材需給ギャップの定点観測を行う。

アウトプット

- ① 足下の人材の採用規模、不足規模
- ② 短期・長期視点での人材の採用規模、不足規模
- ③ 職種別の人材不足感
- ④ 学生等に対する有効なPR活動の状況
- ⑤ 産学連携（出前講義、インターンシップ等）の状況

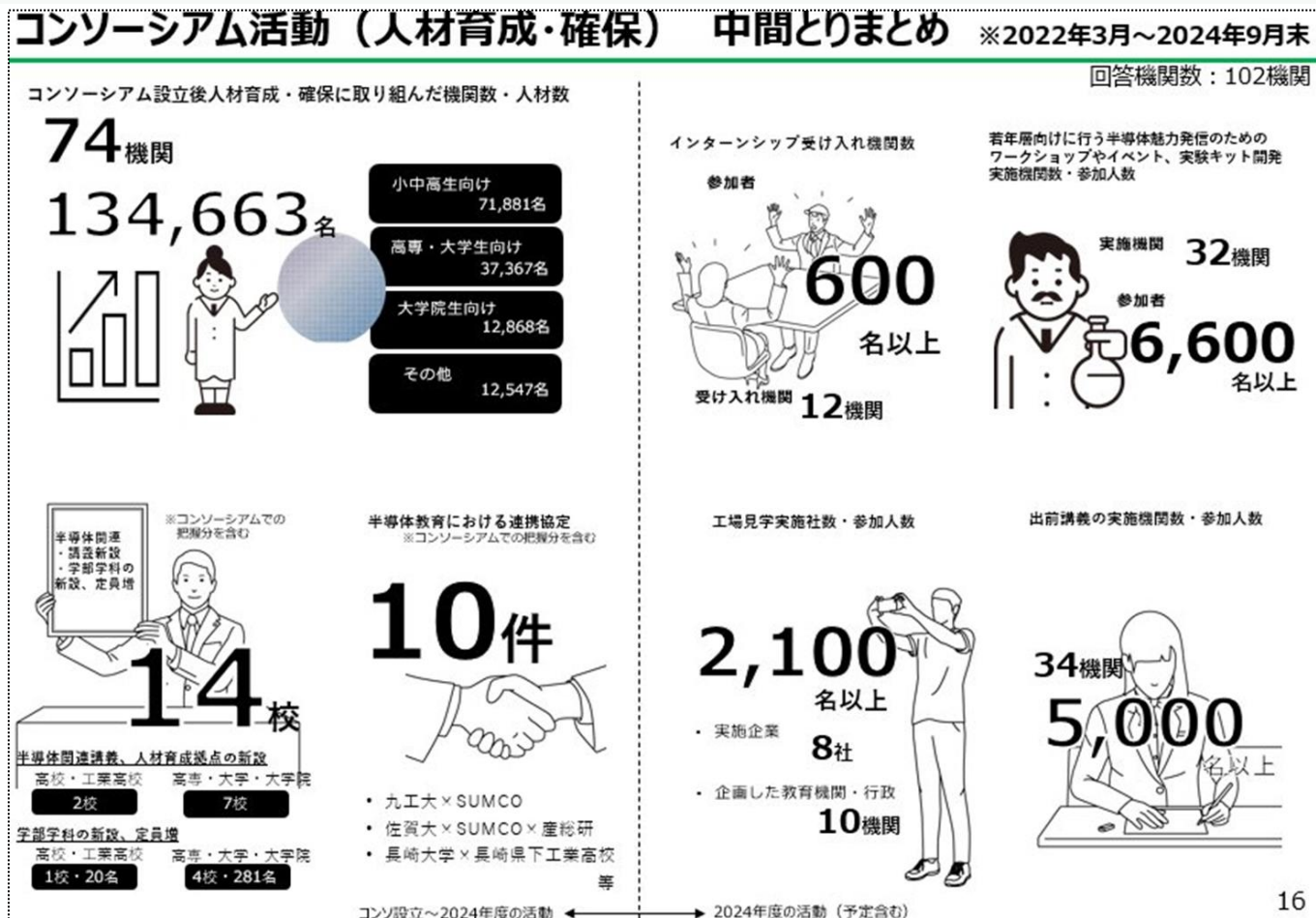


- ✓ 九州半導体人材育成等コンソーシアム設立後（**3年間**）における各アウトプットの変化や、新たな取組等の状況を把握するとともに、
- ✓ より有効な人材育成・確保の施策・手法を明らかにする。

1.-②実態把握・情報収集調査 【構成機関における人材育成・確保の取組状況調査】

フォローアップ調査について

- ・コンソーシアム第5回会合（2024年10月）において公表した構成機関の取組状況について、フォローアップ調査を実施予定。
- ・前回公表時からの取組状況の変化を発信し、さらなる取組拡大に繋げる。



2.-①半導体産業の魅力発信【教員向け研修会】

事業の目的

- 半導体関連企業を訪問し、学生の進路選択の一つである半導体産業の現状把握・実際に働く現場の見学を行うことで**教員の皆様に半導体についての理解を深め**ていただき、生徒・学生の進路選択時に半導体産業を一つの**選択肢として先生方から提案**いただけるよう、半導体産業の魅力発信を行う。
- 企業（人事担当や参加者所属校の卒業生）との座談会により、**学校での教育と半導体に関する業務の関連性等**について教員の皆様に理解を深めていただく。

実施スケジュールと結果

No	実施企業	実施場所	主な事業内容	実施日	実施結果
1	三菱電機（株）	パワーデバイス製作所 （福岡市西区今宿東1-1-1）	半導体の設計/開発/製造 （主にパワー半導体）	7月25日	7名参加
2	（株）SUMCO	九州事業所（伊万里・久原） （佐賀県伊万里市山代町久原1-52）	半導体用シリコンウエハの 製造/販売	8月4日	参加者4名 のため中止
3	日清紡 マイクロデバイスAT（株）	（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野950）	電子デバイス（半導体） 製品の製造	8月28日	6名参加
4	ラピスセミコンダクタ（株）	宮崎第二工場 （宮崎県東諸県郡国富町田尻1815）	ウエハ製造 （半導体ウエハファウンドリ）	2026年 1月15日	（募集未）
5	フェニテック セミコンダクター（株）	鹿児島工場 （鹿児島県始良郡湧水町北方1770-1）	ウエハ製造 （半導体ウエハファウンドリ）	2026年 1月後半予定	（募集未）



教員向け研修会アンケート結果1- (1/2)

日時：2025年7月25日 13:30～15:30
場所：三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
(福岡県福岡市西区今宿東1丁目1番1号)
参加者：7名 (アンケート回収率:100%)

Q1 所属する機関についてお答え下さい。

大学院	1
大学(大学校含む)	3
高等専門学校	3
高校	0
合計	7

Q2 専門分野・領域についてお答え下さい。(複数選択可)

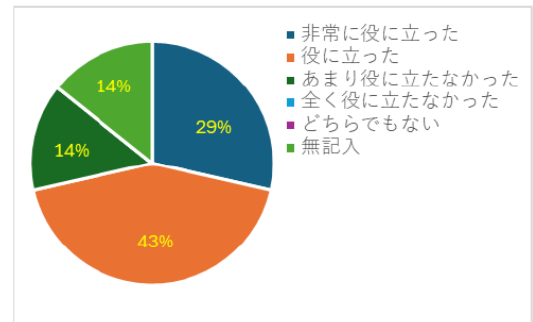
電気電子	4
機械	1
就職、進路相談	1
人材育成	2
産業支援	2

Q3 本研修会に参加した理由についてお答え下さい。(複数選択可)

半導体人材の育成に活用したい	5
就職・進路指導等に活用したい	4
半導体産業での仕事内容を知りたい	3
半導体産業の支援に活用したい	2
半導体について理解を深めたい	1
半導体企業の人事担当者、卒業生と交流したい	1

Q4 本研修会全体の構成についてお答え下さい。

非常に役に立った	2
役に立った	3
あまり役に立たなかった	1
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	7

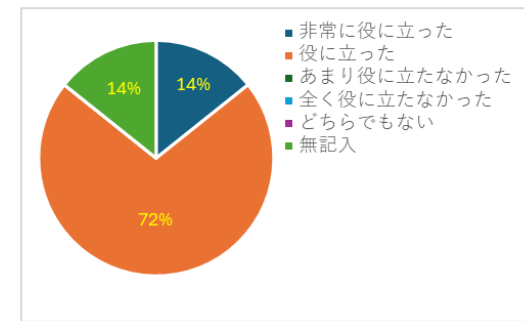


Q5 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。

企業が期待する人材像を理解することができた	1
半導体の知識を深める機会にしたかったがリクルートに関する情報が多かった	1
実際に半導体の製品を見る機会になって良かった	2
入社後のキャリアプランと現状を知ることは良かった	1

Q6 本研修会の会社説明についてお答え下さい。

非常に役に立った	1
役に立った	5
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	7



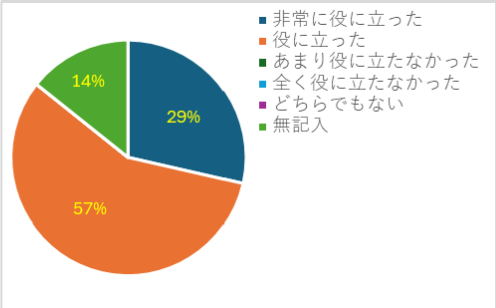
Q7 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。(自由記載)

各企業の特色が理解出来て、興味深い内容だった	1
各企業の人事担当の方と質疑応答が出来たのは良かった	1
学生の就職について知ることが出来て良かった	1
どのような人材を企業が求めているかを理解することができた	1

教員向け研修会アンケート結果1- (2/2)

Q8 本研修会の見学会についてお答え下さい。

非常に役に立った	2
役に立った	4
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	7

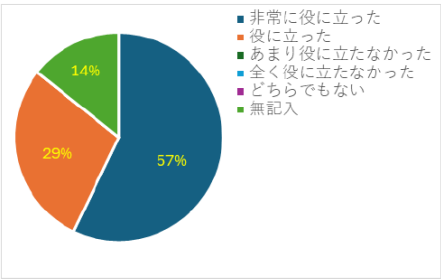


Q9 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。(自由記載)

見学の時間を長めに設定して欲しかった	1
ウエハの製造工程を見学したかった	1
普段は見る事ができないパワー半導体の製造ラインを見学できたのは良かった	1
パワー半導体の現物を見ることで「耐圧」に必要な設計のイメージが理解できた	1

Q10 本研修会の座談会についてお答え下さい。

非常に役に立った	4
役に立った	2
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	7



Q11 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。(自由記載)

座談会の時間が長めに設定されているのは良かった	1
若手社員の方の率直な意見が聞けて、とても参考になりました	1
学校における学生の必要な学びについて知ることが出来て良かった	1
現場の生の声を聞いて、学生の入社後のイメージがわいた	1

Q12 今後の研修会開催に当たり、適切な開催時期についてご希望をお答え下さい。(複数選択可)

冬季休暇	3
平日	3
夏季休暇	2
春季休暇	1
就職活動・進路相談時期	1
講義等カリキュラム検討時期	1

Q13 本研修会に対するご感想、ご要望などあればお聞かせ下さい。(自由記載)

座談会は役に立った	1
イベントのタイトルを「教職向け」にすればキャリア支援の先生方も参加しやすくなる	1
技術的な内容について説明が欲しかった	1

Q14 人材育成 WG 事務局へのご意見・ご要望などあればお聞かせ下さい。(自由記載)

今後も様々な企業、学校の方々とつながる機会を設定していただきたい	1
----------------------------------	---

教員向け研修会アンケート結果2-（1/2）

日 時：2025年8月28日 13:30～15:30
場 所：日清紡マイクロデバイス AT 株式会社
（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野950）
参加者：8名（アンケート回収率:100%）

Q1 所属する機関についてお答え下さい。

その他機関	1
大学院	1
大学(大学校含む)	5
高等専門学校	0
高校	1
合計	8

電気電子	2
機械	1
化学	2
材料	1
物理	1
数学	0
情報・IT	0
就職、進路相談	3
人材育成	1
産業支援	1
その他	0

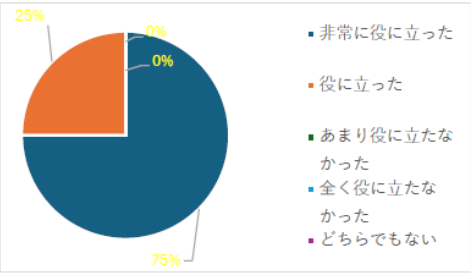
Q2 専門分野・領域についてお答え下さい。(複数選択可)

Q3 本研修会に参加した理由についてお答え下さい。(複数選択可)

半導体について理解を深めたい	4
半導体企業の人事担当者、卒業生と交流したい	1
半導体人材の育成に活用したい	4
半導体産業での仕事内容を知りたい	6
就職・進路指導等に活用したい	5
半導体産業の支援に活用したい	3
その他	0

Q4 本研修会全体の構成についてお答え下さい。

非常に役に立った	6
役に立った	2
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	0
合計	8

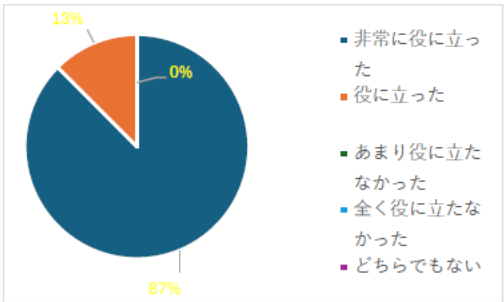


Q5 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。

座談会の時間を十分にとっていただき、半導体人材育成に関して理解が深まりました	1
後工程企業の訪問、見学は初めてであったので、これまで疑問として持っていた事項についても回答を頂けた	1
就職に関し、学生に工程・技術者の分類、仕事内容について正確に伝えたいと思います	1
半導体樹魚の現場を見学させて頂き、理解を深める事ができました、学生指導に活かしたいと思ひます、今後もどうぞよろしくお願いいたします、本日はありがとうございました	1
座談会での若手社員への参加者からの質問等、大変参考になった	1
半導体業界を目指す学生をサポートができるように勉強させていただきました	1

Q6 本研修会の会社説明についてお答え下さい。

非常に役に立った	7
役に立った	1
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	0
合計	8



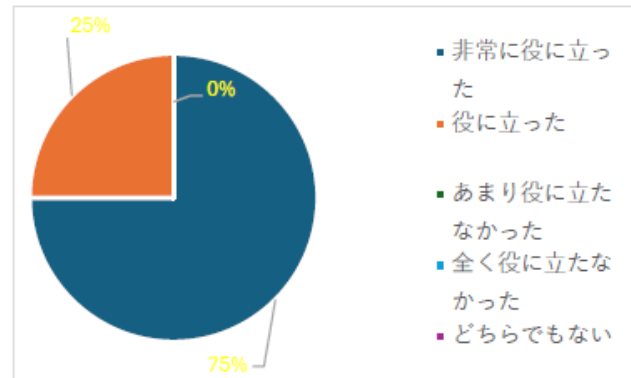
Q7 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。(自由記載)

資料の掲載内容等、多彩で分かりやすかった	1
貴社の理念に基づく人材育成が参考になりました	1
かなり込み入った部分についても資料で説明頂いた	1
会社の風土を知ることができ？大変役に立った	1
会社内容についての理解、会社の良さを知ることができた	1

教員向け研修会アンケート結果2- (2/2)

Q8 本研修会の見学会についてお答え下さい。

非常に役に立った	6
役に立った	2
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	0
合計	8

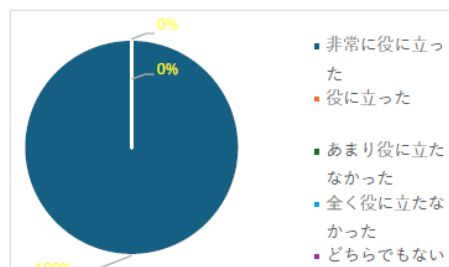


Q9 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。(自由記載)

製造現場を直接見学し、多くの質問に答えて頂いた点が良かった	1
半導体製造現場を見学させて頂き、学生への指導に役立ちます	1
私自身が半導体産業の企業見学が初めてで、参考になった	1

Q10 本研修会の座談会についてお答え下さい。

非常に役に立った	8
役に立った	0
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	0
合計	8



Q11 上記評価に至った理由について具体的にお聞かせ下さい。(自由記載)

参加者からの質問に対する回答が興味深かった	1
社員の方のご意見が参考になりました	1
前から聞きたかった質問ができ、その回答を得ることができた	1
技術者から現実的なお話をうかがえる良い機会でした	1
実際、社員の方の話を聞いた	1
入社3から4年目の社員の方に直接質問でき進路決定の時期や、会社の良さを聞いた点	1

Q12 今後の研修会開催に当たり、適切な開催時期についてご希望をお答え下さい。(複数選択可)

春季休暇	3
夏季休暇	5
冬季休暇	4
土曜日、日曜日、休日等	0
平日	4
就職活動・進路指導時期	0
講義等カリキュラム検討時期	0
予算検討・策定時期	0
その他	1

Q13 本研修会に対するご感想、ご要望などあればお聞かせ下さい。(自由記載)

半導体人材育成や近年の半導体の様子等もわかり、時間もコンパクトにまとまり良かったです	1
今後とも SIIQ 会員になっている企業への訪問・見学の機会を作っていただけると有難く存じます	1
ご案内から参加の回答期限までがタイトであったため、早めの案内をいただきたい	1
見学や座談会をつづけて頂きたいです	1

Q14 人材育成 WG 事務局へのご意見・ご要望などあればお聞かせ下さい。(自由記載)

ありがとうございました	1
学校現場に持ち帰り還流したいと思います、本当は有難うございました	
ジェネレーションギャップを含め、各社社内教育で苦心されている点(ひいては大学での教育課題の発見)について、意見交換できる機会を設定頂けると有難い	
参加者のみなさんのお話も大変参考になりました、ありがとうございました	

2.-②半導体産業の魅力発信【産学ミートアップ事業】

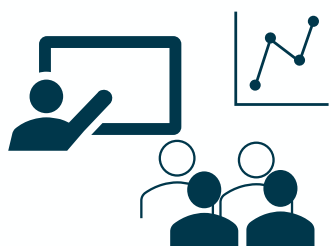
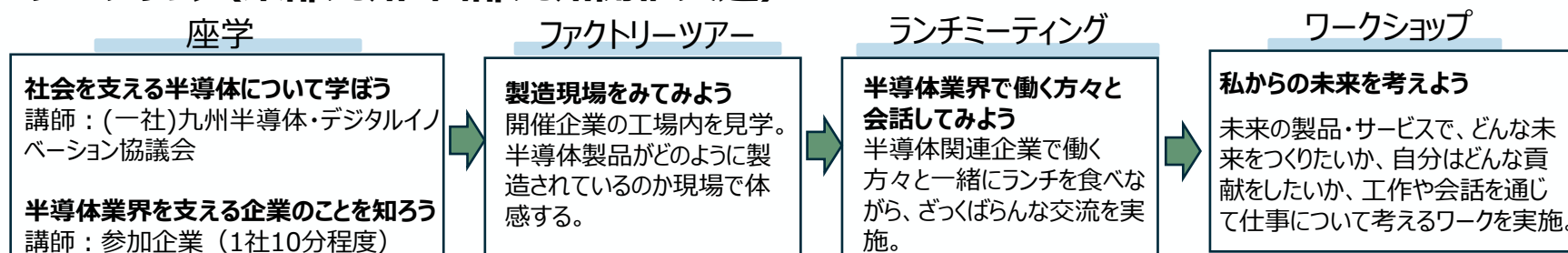
事業の目的

- 交流機会の少ない進路選択前、就職先検討前の学生・教員、半導体関連企業が一堂に会し、「半導体が切り拓く未来」をテーマに、ワークショップや工場見学等の交流を通じて、
 - ・教育機関に、九州に立地する半導体関連企業を知ってもらうこと、半導体業界で働く魅力を発信すること
 - ・企業に、教育機関と繋がるきっかけを作り出すこと、イノベーションの創出に繋げること

事業の概要

- 2024年度は、南部九州（鹿児島県）、北部九州（福岡県）で実施。
2025年度は、東部九州（大分県：8月21日 ジャパンセミコンダクター大分事業所）、
西部九州（長崎県：2026年2月18日 SUMCO TECHXIV）で実施予定

プログラム（東部九州・西部九州開催共通）



開催概要

【東部九州】

- ・日時：2025年8月21日（木）
- ・場所：株式会社ジャパンセミコンダクター大分事業所（大分市）

【西部九州】

- ・日時：2026年2月18日（水）
- ・場所：SUMCO TECHXIV株式会社（大村市）

開催報告【東部開催】1/2

開催結果

- 会場：株式会社ジャパンセミコンダクター大分事業所（大分市）
- 日時：2025年8月21日（木） 9:00～16:50
- 参加者数：49名
教育機関：9校 学生21名※留学生 5 名含む、教員7名
（開新高校、情報科学高校、津久見高校、中津東高校、大分高専、大分大学、九州産業大学、日本文理大学、立命館アジア太平洋大学）
企業：7社 21名
（旭化成マイクロテクノロジー、平井精密工業、デンケン、オジックテクノロジーズ、スズキ、エスティケイテクノロジー、ジャパンセミコンダクター）

参加者からの声（抜粋）

教育機関

- ・製造現場を見たり、関わっている方々とお話するのは初めてで、具体的なイメージを持つことができて良かった。（学生）
- ・半導体業界の仕事が面白そうで、半導体業界に就職したいと思った。（学生）
- ・学校で学生だけのワークショップには参加したことはあるが、そこでは経験できない企業目線の考え方、社会人のアイデアの出し方を学ぶことができた。（学生）
- ・ワークショップ自体が楽しかった。就職につながるような学生と企業の交流機会がもっとあればありがたい。（教員）

企業

- ・普段、交流が少ない学生・教員とのワークを通じ、新たな発見が得られ、刺激になった。
- ・学生のレベルが高いと感じた。今後、高校・大学へのPR強化を図りたい。
- ・今回の参加で得た学生の就活時の視点を踏まえ、今後、教育機関との連携をとっていきたい。

開催報告【東部開催】2/2

当日の様子（座学、ワークショップ、成果報告）



◀ 座学



◀ ワークショップ



◀ ワークショップ



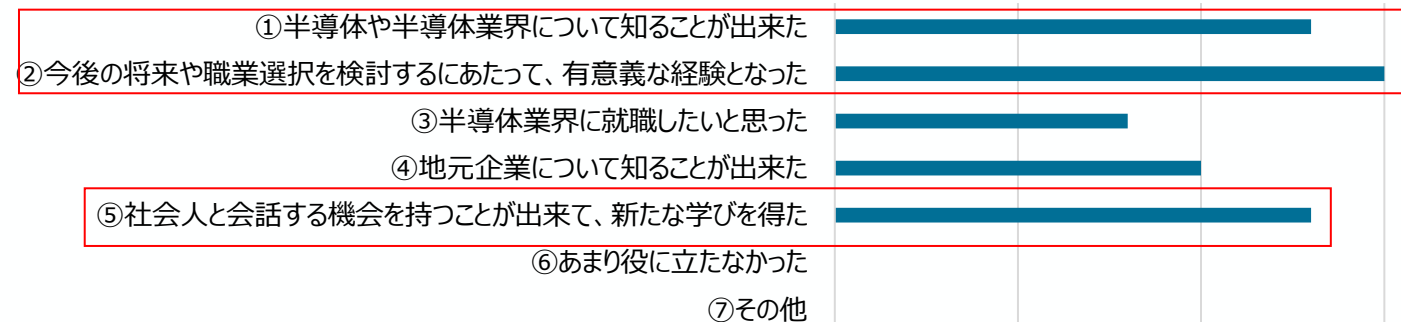
◀ 成果発表

(参考) アンケート結果1/2

Q.参加した感想（複数回答可）

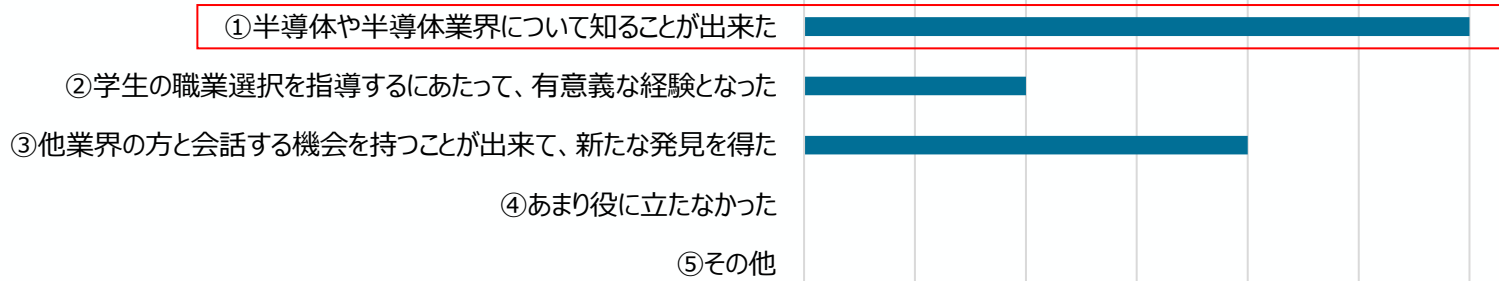
【学生】

0 5 10 15 20



【教員】

0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 3.5



自由記述

クリーンルームの作業以外にも、半導体に関わる事業は多くあり、選択の幅は広いと感じられたから。企業の方々と話すことで半導体業界について、少しでも見聞を深められたと思うから。

社会人のアイデアの出し方を学べた。様々な企業が集まっており、多方向からの視点を学ぶことができた。

自分の意見を企業目線からどのように考えているのかを知ることができました。また、留学生とも話す機会になりました。

普段の学校の授業では得られない体験でした。応募前見学の際に見えなかった職場も見学できた。

自分も半導体業界で働くことになるので今日このような機会に参加できてよかった。

半導体の持つ可能性にとっても興味をもつことができたから。

半導体の存在は知っていたが、どのようなことをしているか、どんな企業があるかなどを新たに知れてよかった。

半導体に関する論文を読んだりはしていたが、その製造現場を見たり、関わっている方々とお話しするのは初めてだった。具体的なイメージを持つことができ、とても良かった。

自由記述

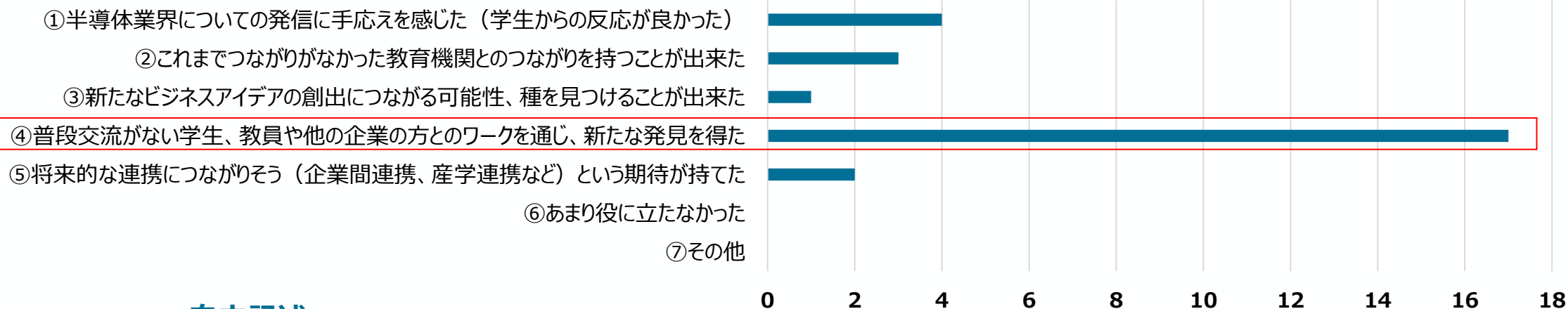
半導体関連の様々なメーカーの方と関わりを持てた。学生さんの柔軟性とメーカーさんの問題解決力に刺激を受けた。

学びと企業の交流の時間がもっとあれば、よりよかったと思います。(イベント自体はすばらしく有意義でした。ありがとうございます。)

(参考) アンケート結果2/2

Q.参加した感想（複数回答可）

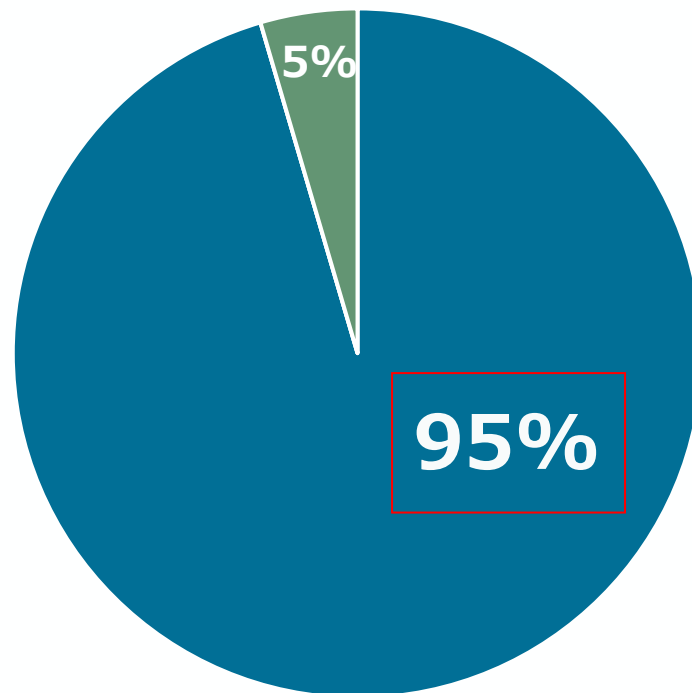
【企業】



自由記述

各社が半導体とは何かを学生等に伝えるプレゼンがとても参考になりました。
大学・高校の先生とつながることができた。
普段関わることのない学生さん先生と話すことで、新たな視点を得られた。
学生の方が興味を持っていた。
半導体業界の方や学生さんなど、普段あまり関わらない方々から、柔軟で新しい考え方発想を学べた。
固定観念のない思考を聞けてよかった。
自分自身も新入社員だったので、学生と共に学ぶことができました。

Q. 半導体産業に対する印象の変化（学生・教員）



■ ①半導体産業への印象が良くなった

■ ②半導体産業への印象が悪くなった【回答：0】

■ ③半導体産業への印象は変わらなかった

①の理由

JSCさんの工場見学、企業の方、教授の方などのワークショップが良かった。

研究だけではなく、製造の具体的なイメージを持つことができた。

半導体は現代の産業、生活には欠かせないものだと分かった。

仕事面白そうだったから。

ものすごく緻密な作業であることが分かり、これを量産しているすごさを知った。

技術や人に対する配慮が進歩していることが分かった。

外国の方など多くいて、九州全体で半導体を盛り上げようという取組が良いなと思ったから。

学生を積極的に集める活動を知ることができた。

③の理由

元々、良い印象であるため。

3.-①半導体人材の育成・確保 【出前授業】

- ・2022年度から高専機構様と連携し、ボリュームゾーン人材育成を目的にしたカリキュラムを策定し、SIIQ事務局による出前授業を開始。
- ・当該カリキュラムをベースに高専のみならず、大学、高校にも展開中。
- ・デジタル社会における半導体の実用例や、九州半導体産業の集積状況などを解説し、その魅力を発信する。

実施スケジュール

【2024年度からの継続】			
NO	学 校 名	実施時期	内 容
1	大分大学	2025年11月11日	90分×1コマ
2	佐賀大学	2025年9月4日	90分×2コマ（父兄含めて一般参加もあり）
3	福岡大学	2025年11月14日	90分×1コマ
4	九州産業大学	2025年9月26日	90分×1コマ
5	佐世保高専	2025年4月22日、10月7日、11月18日 12月2日、2026年1月13日	90分×5コマ（前半：1コマ+後半：4コマ）
6	鹿児島高専	2025年11月5日+2026年1月14日	11月は4年生、1月は3年生に各90分×1コマ
7	熊本工業高校	2025年10月21日+2026年1月27日	50分×4コマ（前半：2コマ+後半：2コマ）
8	長崎工業高校	2025年5月16日	50分×2コマ
【2025年度からの新規追加】			
9	立命館アジア太平洋大学（APU）	2025年7月12日	90分×2コマ
10	大村工業高校	2025年5月23日	50分×2コマ
11	都城工業高校	2025年9月2日、16日、30日	50分×2コマ×3日
12	香椎工業高校	2025年11月12日	50分×1コマ（生徒、父兄で840名参加予定）
13	福岡工業大学	2025年12月3日	90分×1コマ（学生+教員）



4.-①②横断的・ダイバーシティ推進 【海外人材サブWG】【自治体サブWG】

2025年度 【海外人材サブWG】

■第1回サブWG会合（9月2日（火）ハイブリッド形式）

【テーマ】

九州における海外人材活用に向けた取組や課題の共有、今後の論点整理

【議論のまとめ】

- ・海外人材は、製造オペレーター、エンジニアを中心に採用されており、言語教育の強化、定着率の向上が共通課題
- ・教育機関では、台湾、ベトナム、タイ等のアジア圏を中心に、現地大学等と連携した人材交流・人材育成が行われている
- ・今後さらに、課題の洗い出し・深掘りを進め整理するとともに、海外人材活用の意義や受入体制等について議論していく

2025年度 【自治体サブWG】

●第1回サブWG会合（5月21日（水）ハイブリッド形式）

【テーマ】

各自治体での取組状況・課題の共有、連携可能性の検討

●人材育成に関する意見交換会（9月3日（水）ハイブリッド形式）

【テーマ】

産学ミートアップ事業・教員向け研修会の課題や今後の展開案（2事業の同時開催や自治体との連携開催）の共有

ご清聴ありがとうございました

【お問合せ先】

九州経済産業局 情報政策課

電話:092-482-5440(直通)